



CANTATA PROJECT 2019

カンタータプロジェクト 2019

— 深き淵より —

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ Johann Sebastian Bach

カンタータ第12番「泣き、歎き、憂い、怯え」
Kantate "Weinen, Klagen, Sorgen, Zagen" BWV12

モテット「イエス、わが喜び」
Motette "Jesu, meine Freude" BWV227

カンタータ第131番「われ深き淵より御身を呼ぶ、主よ」
Kantate "Aus der Tiefen rufe ich, Herr, zu dir" BWV131



ソプラノ
昆野智佳子
山口 水瑩

テノール
田尻 健
バロックオーボエ
荒井 豪

オルガン
福田のぞみ

合唱
カンタータプロジェクト声楽アンサンブル
古楽器アンサンブル
コンセール・エクラタン福岡
指揮
小沼和夫

アルト
佐々木ひろ子

バス
今田 陽次
バロックチェロ
山本 徹

チケット取扱い

チケットぴあ (Pコード131437) 0570-02-9999

ローソンチケット (Lコード84380) 0570-084-008

(オペレーター予約) 0570-000-407

HMV&BOOKS HAKATA カウンター 博多マルイ6F

イズタ・バイオリン ※ 092-713-7536

弦楽器工房まつもと ※ 092-406-4092

※) 楽器店からは店頭でお買い求めください (郵送業務はありません)。

2019年5月20日(月)

あいれふホール

午後7時開演 / 午後6時半開場

全自由席 前売3,000円 (当日3,500円)

主催

カンタータプロジェクト実行委員会

お問い合わせ (コヤマ) 080-4317-1886

後援: 福岡市 (公財)福岡市文化芸術振興財団 西日本日独協会 福岡EU協会

カンタータプロジェクトは、J. S. バッハのカンタータを楽しんでいただく演奏会シリーズです。J. S. バッハのカンタータの多くは、大変美しい音楽ながら、様々な事情から演奏されることの少ない、隠れた名曲になってしまっています。それらを掘り起こし、かつての輝きを取り戻して皆様にお届けしたいと思います。独唱陣には古楽に精通しているばかりでなく、普段からグループとしてアンサンブル活動をされている声楽家の方達をお招き致しました。そしてバッハ・コレギウム・ジャパンの名手達をゲストに迎えた、コンセール・エクラタン福岡が古楽器アンサンブルの演奏を披露します。

今回は教会暦には関係なく、地上から天へ向けての、熱い祈りの思いが込められたカンタータ、モテットの名作をお送り致します。是非、お楽しみください。



ソプラノ
昆野智佳子
Chikako Hino



ソプラノ 山口 水蛭
Mizuko Yamaguchi



アルト 佐々木ひろ子
Hiroko Sasaki



テノール 田尻 健
Ken Tajiri

Our Soloists and Players



バリトン 今田 陽次
Yoichi Imada



オルガン 福田のぞみ
Nozomi Fukuda



バロックオーボエ 荒井 豪
Go Arai
バッハ・コレギウム・ジャパン



バロックチェロ 山本 徹
Toru Yamamoto
CHAMBA

バッハ・コレギウム・ジャパン

コンセール・エクラタン福岡 (CEF) Concerts Eclatants de Fukuoka, CEF

フランス語でコンセールは“音楽会”、エクラタンは“輝かしい”を意味する。バロックから現代まで幅広い時代のプログラムに取り組み、各時代に適した奏法、表現を追求することで、音楽の魅力を最大限に引き出したいというコンセプトを掲げる。CEFの公演は多岐に渡り、古楽シリーズをはじめ、オーケストラ公演、合唱団やバレエ団との共演など、独創的な活動を展開。古楽シリーズでは、2014年7月の初公演以来、主にバロック時代（1600～1750年）の作品を中心に取り上げ、作曲時代の状態に復元されたオリジナル楽器（古楽器）を積極的に用いて、当時の様式や演奏習慣を踏まえた演奏を目指す。これまでの公演では、寺神戸亮（バロック・ヴァイオリン）、前田りり子（バロック・フルート）、山本徹（バロック・チェロ）、懸田貴嗣（バロック・チェロ）、加東徹（バリトン）、古橋潤一（リコーダー）、能登伊津子（オルガン）をゲストとして招聘している。



バロックヴァイオリン 廣末真也 倉田輝美
バロックヴィオラ 松隈聡子 友松愛

バロックチェロ 山本徹*
バロックオーボエ 荒井豪* *ゲスト出演

カンタータプロジェクト声楽アンサンブル

独唱陣を核として、九州各地から集められた精鋭古楽合唱団員が加わった、13名の合唱団。



※ 未就学児等、静寂の妨げになる怖れのあるお子様の同伴はご遠慮ください。

指揮 小沼和夫

日本大学芸術学部音楽学科作曲コース、フランクフルト音楽・舞台芸術大学合唱指揮科を卒業。合唱指揮をヘルムート・リリング、ヴォルフガング・シェーファーに、オーケストラ指揮をイルジ・スターレックに師事。ハイドン「天地創造」（部分）の指揮は、フランクフルター・アルゲマイネ紙から「統一された音響像」と好評された。日本大学芸術学部音楽学科、活水女子大学音楽学部、聖グレゴリオの家本科、各講師を務める。シンフォニエッタ福岡、アンサンブル・ナガサキ、九州女声CONSORTカンタータプロジェクト、長崎楽友協会合唱団・管弦楽団などを指揮。2017年からは当カンタータプロジェクトを主催している。

